資料１

「福井県文化振興プラン」中間点における主な成果と課題について

「福井県文化振興プラン」中間点における主な成果

【基本理念】 **みんなで創る 文化でつながる 人と地域が輝く福井**

【目指す姿】	【施策の方向性】	【プラン中間点における主な成果】
1 それぞれの豊かさに出会い、自分らしく育む。 誰もが文化芸術とふれあい、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井	❶ 県民主体の活動の振興 ❷ 県民すべての表現・参加機会の拡大	・県民主体の文化活動に対する支援体制の強化 ・誰もが文化芸術活動に参加しやすい機会の増加 ・分野を超えた文化芸術活動や交流機会の創出
2 ここにある輝きを、これからへ贈る。 みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井	❸ 文化芸術を振興する次世代の育成 ❹ 地域の文化の振興 ❺ 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造	・子どもたちが文化芸術に触れる機会の拡大 ・文化芸術分野の人材育成プログラムの実施 ・文化施設の改修・機能強化に向けた検討の実施
3 文化でつながる。文化でつくり出す。 文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井	❻ 文化芸術による交流機会の拡大 ❼ 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化	・地域資源を活かした文化観光の推進 ・企業による文化活動の促進

プラン中間点の主な成果

【目指す姿1】それぞれの豊かさに出会い、自分らしく育む。
① 県民主体の活動の振興　② 県民すべての表現・参加機会の拡大

● 県民主体の文化活動に対する支援体制の強化

・(公財)福井県文化振興事業団内に、「ふくい文化創造センター」を開設（R7～）
センター内にアーツカウンシルを設置し、専門スタッフがアートプロジェクト実践団体をはじめ、地域で文化芸術活動を行う県民に助言等の伴走支援を実施


アーツカウンシルによる相談対応

● 誰もが文化芸術活動に参加しやすい機会の増加

・障がいの有無に関わらず誰もが楽しめる文化芸術イベントの運営等を学ぶ研修を実施（R7～）

・高齢者等の表現活動への参加拡大を目指し、AIによる自動伴奏機能付きピアノを活用したピアノレッスンカフェを開催（R8～）

・障がいの有無、年代等に関わらず、多様な方々が創作したアート作品を一堂に展示する展覧会「まるまるつながるアートてん まる」を開催（R5～）


だれでもピアノ® レッスンカフェ

● 分野を超えた文化芸術活動や交流機会の創出

・絵画、書道、邦楽、邦楽、演劇など、各分野の文化団体が一堂に会し、発表や体験会等を行う文化フェスティバルを開催（R6～）

・県内の文化活動実践団体が全国のアーツカウンシルや文化政策の専門家らを交えて事例報告や交流を行う「文化芸術ミーティング」を開催（R6～）


ふくい文化フェスティバル2026

プラン中間点の主な成果

【目指す姿2】ここにある輝きを、これからへ贈る。
③ 文化芸術を振興する次世代の育成　④ 地域文化の振興
⑤ 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造

● 子どもたちが文化芸術に触れる機会の拡大

・プロの演奏家や芸術家を学校等へ派遣し、文化部や地域クラブの生徒を対象とした授業や実技指導を実施（R6～）

・小学校、特別支援学校を訪問し、音楽経験や障がいの有無に関わらず誰もが参加できるドラムサークル体験会を開催（R6～）



学校ドラムサークル

● 文化芸術分野の人材育成プログラムの実施

・アート系の職業について知り、体験する中高生向けのキャリア教育プログラムを実施（R6～）

・県外の美術大学などと連携し、県内外の大学生がアートイベントの企画・運営を学べるワークショップ（アートキャンプ）を開催（R5～）

・アートを介して様々な年代・立場の人をつなぐ活動を行う「アートコミュニケータ」を養成する講座を開催（R5～）



ふくいアートキャリア講座



WAKASAアートキャンプ

● 文化施設の改修・機能強化に向けた検討の実施

・県立美術館および歴史博物館について、より県民が利用しやすく、観光やまちづくりの中核（ハブ）として役割を果たせるよう「あり方」を議論（R6～）

プラン中間点の主な成果

【目指す姿3】文化でつながる。文化でつくりだす。
⑥ 文化芸術による交流機会の拡大
⑦ 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化

● 地域資源を活かした文化観光の推進

・嶺南の地域資源をクリエイティブな外部人材の新たな視点で磨き上げ、県内外に発信する新たなプロジェクトを立ち上げ（R8～）

・熊川宿において国内外のアーティストが地域の歴史・文化をもとにした創作活動を行い、住民との交流や県内外からの誘客を図る芸術祭を開催（R5～）

・県クリエイター協会と連携し、一乗谷朝倉氏遺跡全体をフィールドミュージアムととらえ、若者向けのイベントや案内サインの統一等を実施（R5～）



嶺南における地域資源の新たな魅力創出プロジェクト（R8.8会議）

● 企業による文化活動の促進

・企業が文化芸術活動に取り組む意義や効果について、ビジネスパーソンや経営者が学ぶセミナーを開催（R6～）

・県内企業6社、県、文化振興事業団、福井商工会議所をメンバーとする研究会を設置し、文化活動に取組む企業を増やす仕組みや方策を検討（R7～）
（令和8年11月に最終報告書を公表予定）



ビジネスパーソンのための文化芸術セミナー

プラン中間点における主な課題と解決に向けた協働

	課　題	解決に向けた協働案
1	・県内全域で県民主体の文化活動を活性化 ・新幹線効果の美浜以西への波及 （参考）資料１　Ｐ１３～１５	・クリエイティブな視点で、嶺南の地域資源の新たな魅力を創出するプロジェクトを実施 ・事業実施にあたっては、住民ワークショップや、制作への住民参加を通じて、交流機会を拡大 ・県外美術大学生、県内学生などが関わる機会を創出し、人材育成の場として活用
2	・県民の文化活動の拠点としての文化施設の改修、機能向上 ・観光、まちづくり、国際交流などの中核（ハブ）としての文化施設の機能強化 （参考）資料１　Ｐ１６	・改修後も文化施設のファンとして、運営や企画に関わってもらえるよう、改修プランの検討段階から県民が関われる仕組みづくりを検討
3	・「企業の文化活動促進研究会」による提案の実行、企業の文化活動の活性化 （参考）資料２	・優秀事例の表彰などにより、行政、企業、団体等へ企業の文化活動の意義を周知 ・文化活動実践団体と企業をマッチングする仕組みの検討 （議題２において議論）

参考資料

公益財団法人 福井県文化振興事業団
ふくい文化創造センター

事業進捗と今後の方針

福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課
公益財団法人福井県文化振興事業団

主な事業の進捗

1　新たな文化創造　～文化で織りなす共生社会実現実証プロジェクト～




だれでもピアノ® レッスンカフェ開催事業

【実施概要】

インクルーシブアーツ研究の国内第一人者の新井鷗子氏(横浜みなとみらいホール館長、東京藝術大学客員教授)の監修の下、自動伴走装置追従機能のついた「だれでもピアノ® 」を用いて、高齢者を対象としたレッスンカフェを開催

【実績・予定】

だれでもピアノ®レッスンカフェ・発表会(6回)
　参加者　12名
だれでもピアノ® 体験会(4回)　R8年10月8日、9日
　参加者　40名予定




福祉施設へのアーティスト派遣

【実施概要】

高齢者や障がい者、施設に入所する子どもたちにアーティスト等による鑑賞会や表現手法を用いたワークショップを実施することにより、生きがいづくりや活力向上を図る

【実績・予定】

7～12月にかけて19組のアーティストが25施設を訪問予定

応募施設数：　68施設
訪問希望アーティスト：19団体・個人

主な事業の進捗

2 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化 ～企業の文化活動促進プロジェクト～



企業の文化活動促進研究会

【実施概要】

文化による企業の価値創造や人材育成に加え、県内の文化芸術の醸成や次世代育成、地域の持続的発展に向け、企業の文化活動を促進する仕組み等について調査・検討を行う研究会を運営

【実績・予定】

開催期間：2年間（R8年8月までに11回開催）
参加者：6企業、県、事業団、福井商工会議所
スケジュール： R8年10月頃 最終報告書とりまとめ



ビジネスパーソンのための 文化芸術セミナー

【実施概要】

文化芸術と経済の両輪をつなぎ、持続可能な社会をつくることを目指し、ビジネスパーソンが文化・芸術に触れ、アートと経済社会について考えるミニコンサート付きセミナーを開催

【実績・予定】

11月に2回シリーズでセミナーを開催
福井商工会議所との連携により、広く県内企業に周知

・R8年11月2日 「なぜ今、企業文化芸術が求められるのか」
東京藝術大学名誉教授 アートプロデューサー 熊倉 純子 氏
・R8年11月26日
「企業が仕掛ける芸術祭、地域に生まれる新しい価値」
インディペンデントキュレーター
高見澤芸術計画 代表 高見澤 清隆 氏

主な事業の進捗

3 文化芸術活動実践者への支援 ～アートプロジェクトによる文化芸術創造～



アートプロジェクト実践団体への助成

【実施概要】

地域の歴史、伝統芸能、美術、音楽などの文化資源を活用し、地域の魅力向上や新たな文化の創造、課題を解決するために住民が主体となり地域活性化に取り組む事業を支援

【実績】

採択件数：52件 （応募件数：63件）

・プロジェクト支援
　150万円 助成率2/3 18件採択
・活動基盤強化支援
　50万円 助成率1/2 12件採択
・活動活性化支援
　20万円 助成率1/2 21件採択
・担い手育成支援
　10万円 助成率10/10 1件採択



団体間のネットワークづくり

【実施概要】

アートプロジェクトの事業運営のレベルアップや実践者同士の交流による団体間の連携強化、ネットワークづくりを進めるため、研修や交流を目的とした「文化芸術ミーティング」等を開催

【実績】

〇キックオフミーティング（R8年6月14日開催）
　39団体・55名参加
〇アート茶会（毎月第3金曜日）
　R8年度：6回開催（9月末時点） 毎回20名が参加
〇ART BOOT CAMP （R8年8月29日開催）
　16名参加

【予定】

〇文化芸術ミーティング（R8年12月頃）
〇成果発表会（R9年3月頃）

主な事業の進捗

4 未来人材の育成 ～こども文化芸術体験１万人プロジェクト～




アートキャリア講座

【実施概要】

文化芸術分野の進路を希望する子どもたちを応援するためのキャリア教育プログラムを実施し、本県の文化芸術を担う次世代を育成

【実績】

参加者：34名（中学生16名、高校生18名）

内　容：講師からのお話、ワークショップ

第1回	R8年6月28日	美術家
第2回	R8年7月18日	デザイナー
第3回	R8年8月18日	建築／まちづくり
第4回	R8年9月5日	伝統工芸／デザイナー




音楽堂や学校での音楽体験事業

【実施概要】

福井県立音楽堂で開催されるオーケストラ公演等のリハーサル公開や、小学校・中学校や特別支援学校に出向き、越のルビーアーティストによる演奏会や参加者が輪になって行う即興の打楽器アンサンブル「ドラムサークル」の体験会を開催

【実績・予定】

〇オーケストラ公演等リハーサル公開
　東京交響楽団による青少年プログラム
　オペラハイライト「蝶々夫人」の公開リハーサル
〇越のルビーアーティストによる演奏会（出張音楽堂）
　14校で実施
〇ドラムサークル体験会
　17校で実施

主な事業の進捗

5 県民による文化創造への機運醸成 ～文化芸術に溢れ賑やかな福井づくりプロジェクト～



アーティストバンクの利用促進

【実施概要】

「越のルビーアーティストバンク」や「芸術文化人材データベース」に登録されているアーティストの利活用を促進し、文化芸術に溢れるまちづくりを進める

【実績】

〇越のルビーアーティストバンク活用奨励金
　利用実績（9月末時点） 3件　予約済　1件
〇芸術文化人材データベース活用奨励金
　利用実績（9月末時点） 2件



まちなかミニライブ開催

【実施概要】

県民の日々の生活の一部となっている街なかにおいて、県内で活動しているアーティストによるミニライブを実施し、ホール等に来場する機会がない県民も気軽に音楽にふれる環境を創出

【予定】

R8年　9月27日　アル・プラザ鯖江（鯖江市）
R8年11月15日　イーザ（坂井市）
R8年12月　6日　SEE SEA PARK（おおい町）

嶺南における地域資源の新たな魅力創出プロジェクト

R8.8.24 第1回事業計画策定会議 資料

(1)目的

・交流人口増加、地域経済の活性化
・持続的な地域の振興(地域で活躍する人材の育成)

(2)全体概要

・R9からR12まで、統一テーマのもと、地域資源とクリエイティブな外部人材をかけ合わせた地域づくりを進め、置県150年となるR13年に記念事業として大規模な文化観光イベントを実施
・福井県長期ビジョンに掲げる「WAKASAリフレッシュエリア」実現に向け、地域ブランディングを進める

年度	区分	主な取組み内容
R8	計画策定	策定会議 住民ワークショップ シンポジウム R9～13の実施計画策定
R9	事業開始	地域資源とクリエイティブ人材をかけ合わせた地域づくり ・クリエイティブ人材と協働し、住民が主体となって活動する地域の素地づくり ・文化芸術への理解促進・機運醸成
R10	事業継続	
R11	事業継続	
R12	事業継続	
R13	最終年度・記念イベント	**置県150年記念イベント** R9～12の内容を踏まえて実施

嶺南における地域資源の新たな魅力創出プロジェクトのイメージ

R8.8.24 第1回事業計画策定会議 資料

・住民ワークショップやアンケートを通じ、食や伝統芸能等、次世代に遺したい地域資源を抽出
・抽出された地域資源の新たな魅力を外部人材の視点で引き出し、県内外に発信

場所
（歴史・自然）


自 然
（ビーチ、半島、湖など）


寺社・仏閣

もの


食


漁家民宿

こと


伝統芸能・祭り


体験

×

クリエイティブな外部人材
（アーティスト、デザイナー、美大生 など）

嶺南地域の地域資源の磨き上げや掘り起こしを行い、地域に新たな魅力を創出

県内外に発信

○交流人口の増加
・若者、女性、インバウンド

○関係人口の増加
・継続的に地域に関わるクリエイティブな人材、地域おこし協力隊

○住民の地域愛向上
・地域資源の価値の再認識

嶺南における地域資源の新たな魅力創出プロジェクト　将来イメージ

R8.8.24 第1回事業計画策定会議 資料

福井県長期ビジョン（2040年）

WAKASAリフレッシュエリア

「文化的・健康的に過ごせるくらしの先進地」



達成のための手段

地域資源×クリエイティブ視点

地域に根差した資源とクリエイティブの力で、嶺南の新しい魅力を創出
地域資源をもとに文化、観光、産業が循環し、国内外から人が集まる地域を目指す



テーマ（仮）

「育ち」（人材・産業の育成による地域の成長など）

フェーズ目標

第Ⅰ期（R9～13）点の創出	第Ⅱ期（R14～18）面への拡大	第Ⅲ期（R19～）持続モデルの確立
地域資源の可視化 モデル事業の展開 住民理解の醸成	市町横断、周遊などエリア拡大 モデル事業の進化・定着 住民主体の活動の増加	国際的な認知向上 民間レベルでの事業自走化 住民の幸福実感向上

実施内容（想定）

・住民ワークショップやアンケートで地域資源を掘り起こし ・地域資源とクリエイティブ視点が融合したモデル事業を各地で立ち上げ ・モデル事業の実績をもとに、置県150年記念イベントを実施	・モデル事業を市町連携やエリア周遊事業に進化 ・事業期間外も来訪者が継続する仕組みの整備 ・住民の自主的な活動拡大 ・データ分析による来訪者分析、継続的改善	・通年型の文化・観光プログラムの整備 ・国内外からのクリエイティブ人材が交流（関係人口）

（参考）地域資源

文化・歴史	食・産業	自然・景観	体験・暮らし	人・地域の力
				
伝統芸能、祭り、寺社仏閣など	山海の幸、工芸など	ビーチ、半島、湖など	街並み、漁家民宿、アウトドアなど	地域の人々のつながり、活動・団体の取組など

美術館・博物館等の持続可能なあり方検討事業（令和８年９月補正予算1,６００万円）

・美術館・歴史博物館、幾久公園について、一体的な
整備を含めた検討を実施

各施設単独で改修する場合と、施設の統合など一体的に
整備する場合のメリット・デメリットを比較検討
比較検討の結果、基本計画の方向性案を取りまとめ


【県立美術館】


【県立歴史博物館】

【今後のスケジュール】
・令和８年度中を目途に、比較検討案を作成、検討委員会や県民から意見聴取
・比較検討の結果、得られた改修方針をもとに令和９年度中に基本計画を策定予定
・令和10年度以降、設計や工事を予定
・全体事業費　８０億円を目途に検討